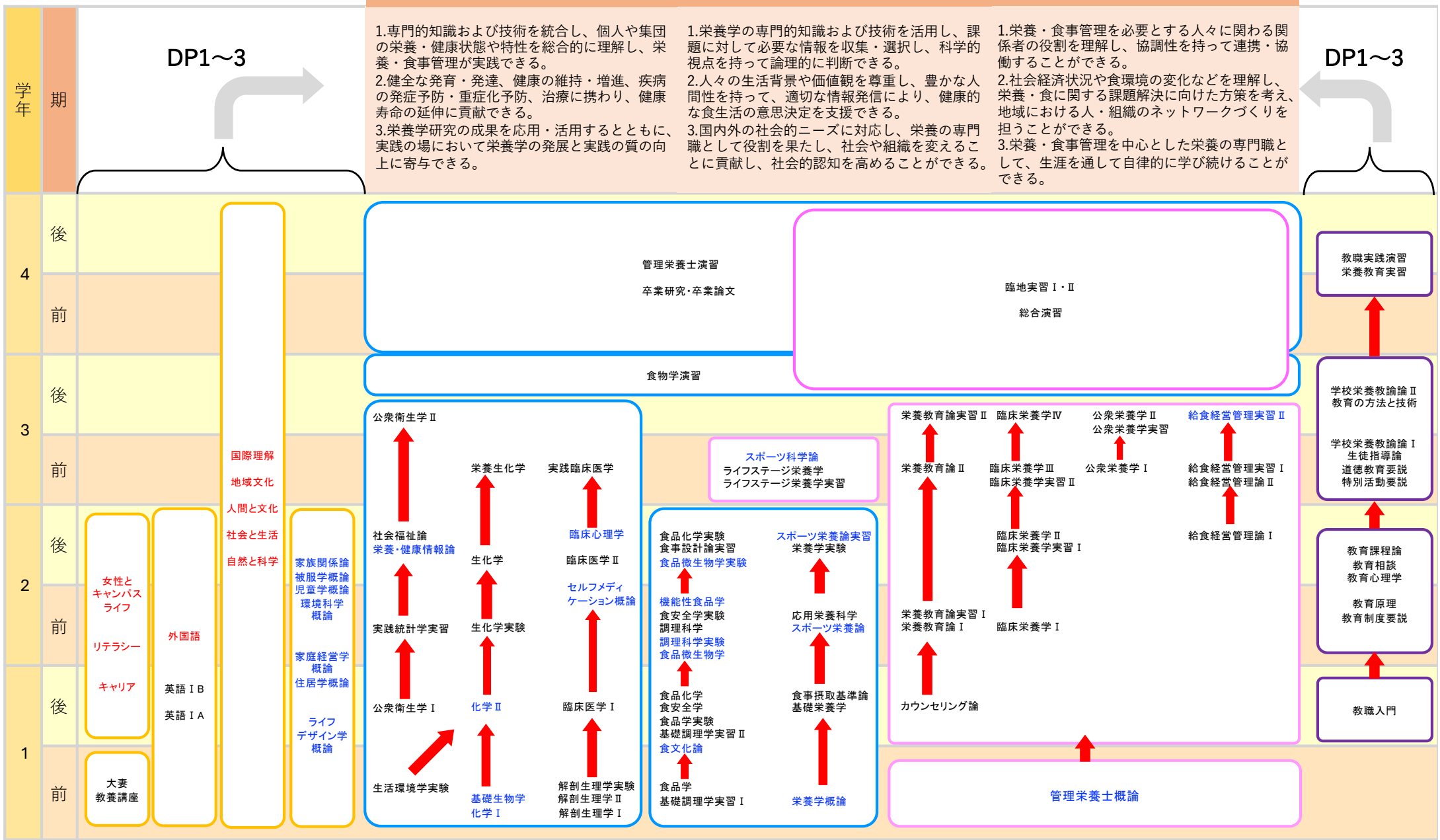
家政学部　食物学科　管理栄養士専攻

食物学科管理栄養士専攻は、以下の要件や能力を身につけ、所定の単位を修得した学生には、卒業を認定し、学士の学位を授与します。

DP1:知識および技能	DP2:思考力・判断力・表現力等	DP3:主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
1.専門的知識および技術を統合し、個人や集団の栄養・健康状態や特性を総合的に理解し、栄養・食事管理が実践できる。 2.健全な発育・発達、健康の維持・増進、疾病の発症予防・重症化予防、治療に携わり、健康寿命の延伸に貢献できる。 3.栄養学研究の成果を応用・活用するとともに、実践の場において栄養学の発展と実践の質の向上に寄与できる。	1.栄養学の専門的知識および技術を活用し、課題に対して必要な情報を収集・選択し、科学的視点を持って論理的に判断できる。 2.人々の生活背景や価値観を尊重し、豊かな人間性を持って、適切な情報発信により、健康的な食生活の意思決定を支援できる。 3.国内外の社会的ニーズに対応し、栄養の専門職として役割を果たし、社会や組織を変えることに貢献し、社会的認知を高めることができる。	1.栄養・食事管理を必要とする人々に関わる関係者の役割を理解し、協調性を持って連携・協働することができる。 2.社会経済状況や食環境の変化などを理解し、栄養・食に関する課題解決に向けた方策を考え、地域における人・組織のネットワークづくりを担うことができる。 3.栄養・食事管理を中心とした栄養の専門職として、生涯を通して自律的に学び続けることができる。



表中の黒字は科目名／赤字はカテゴリー名／青字は選択科目